

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 三郎丸 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

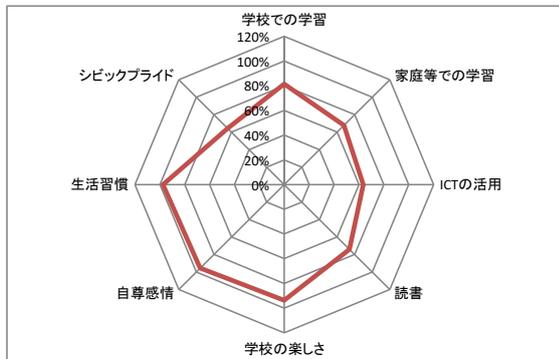
本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など		全国平均正答率との比較
			下回っている
	よくできた問題	資料に書かれている内容として適切なものを選択する	
	努力が必要な問題	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉える	

算数	全体的な傾向や特徴など		全国平均正答率との比較
			下回っている
	よくできた問題	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだだけを書く	
	努力が必要な問題	筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童の割合は全国平均を大きく上回っている。本校で重点化して取り組んでいる、たてわり活動、委員会活動などを通じた自己肯定感の育成への取り組みがよい影響を及ぼしていると考えられる。
- ・「人の役に立つ人間になりたい」と「将来の夢や目標をもっていますか」の項目は、全国平均をやや下回っている。キャリア教育を充実させ、具体的な職業のイメージや目標をもたせるようにしたい。
- ・「自分で学習の計画を立てること、平日や休日に学習すること」の割合が全国平均よりも低く課題である。家庭学習の取り組み方などさらに検討していく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 主体的、対話的で深い学びを目指し、児童が自らの言葉でまとめや振り返りを書けるようにする指導の徹底
 - ・板書には必ず、まとめ・振り返りにつながるキーワードを残す。など、「『学びの質を高める授業』づくり5つのポイント」を踏まえた授業の実施。
 - ・毎時間の学習に視点を持ち、振り返りをする活動を取り入れ、自分の思いや考えをはっきりと発信する児童を育てる。
- 学力向上のための特設時間の実施
 - ・チャレンジタイム(掃除時間後の15分間、担任外が加わり複数教師の指導で基礎的な問題を行う)を、全校一斉に実施。
 - ・算数道場(給食準備時間を利用し、課題等の終わっていない児童を児童支援加配、専科指導、教務主任が指導する)
 - ・ひまわり学習塾(週2回水曜日15:30-16:20、金曜日15:00~15:50)3年生希望者への学習指導を実施。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ゲーム等をする時間が多く、自分で計画を立てて学習ができないという結果をふまえ、家庭学習の取り組み方のさらなる検討に加え、1日の生活時間の計画を立て、実態を記録するなどの工夫をし生活習慣を整える。また、記録を振り返る時間を設け、自立に向けた生活習慣の改善を図る。